

• 未経験OK | 臨床工学技士のキャリア

臨床工学技士の自己PRは 経験の“翻訳”で決まる

医療機器管理とチーム医療の経験は、書き方しだいで治験・製薬職にも活きます。



この経験、病院の外でも
通用するのでしょうか…!?



ええ。経験を“相手の言葉”に
翻訳すればいいの。

● 自己PRの核になる3つの強み

1 正確性と安全意識
医療機器の保守管理で培う

2 チーム医療の調整力
多職種連携で磨く対人スキル

3 責任感
生命維持管理装置の操作で身につく

応募先に合わせて1つを主役にするんですね…！



- 職務経歴書は具体数値で書く

担当装置



人工透析装置・人工呼吸器・輸液ポンプなど具体名で

診療科・件数



透析室・手術室・ICU、年間件数や管理台数の規模感

書き方の核心



「医療機器を管理」ではなく数値で。正確な数がないなくても「月〇件程度」の概算で規模感は伝わる

「年間〇件ほど」で十分。数字を入れると専門性がぐっと立体的になるわ。



● 経験が活かせる治験・製薬職



CRC（治験コーディネーター）

SMO・医療機関／被験者対応・調整



CRA（臨床開発モニター）

CRO・製薬会社／モニタリング・データ照合



平均年収の目安

CRC 454.2万円／CRA 528.7万円



機器管理→GCP順守・データ確認、多職種連携→被験者と医療機関の調整にそのまま直結

なるほど！



● まとめ | 経験を翻訳すれば強みは伝わる

- ✓ 3つの強み（正確性・調整力・責任感）から1つを軸に据える
- ✓ 職務経歴書は担当装置・診療科・件数で具体化する
- ✓ CRC・CRAなど治験・製薬職にも経験は直結する

自分の経験がどの職種で活きるか、まずは情報を集めるところから。
経験の翻訳ができれば、書類は自信を持って出せるわ。

